

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。

絵本にいやされる経験を子どもたちに知ってほしいです



おはなしの森 ピッピ

《活動のきっかけ》

平成22年度に実施された「宇美町子育てサポーター養成講座」を受講したお母さんたちが中心となり、昨年12月に結成したばかりの絵本が大好きなママたちの集まりです。自分の子どもに読み聞かせをするように、たくさん子どもたちに絵本やおはなしと仲良くなってもらいたいと考えています。楽しいおはなしや絵本を通して、たくさん親子のみなさんのコミュニケーションづくりのお手伝いができるといいなと考えて活動しています。

《読み聞かせをしてよかったこと》

- 「子どもたちが一緒に手遊びをしてくれるとうれしいです」
- 「緊張しますが、いろいろな子にふれあえて楽しいです。子どもたちに合わせて、その日の絵本を選んでいきます」
- 「絵本に見入ると、子どもたちの瞳の色が違います」
- 「読み聞かせをすることはまだ難しいのですが、子どもたちの表情を見ながら読んでいます」

《これからのお知らせ》

中学校子育てサロン（10時～14時）で、おはなし会をしています。毎回12時45分～13時の予定です。読み聞かせの活動に興味のある方、お母さんが読んでくれるようなあったかいおはなしを聞きに、ぜひお越しください。

中学校子育てサロンの場所	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
宇美東中	1階・視聴覚室	7日、21日	19日、26日	2日、16日	7日、18日	1日	7日	すべて水曜日
宇美南中	1階・多目的室	30日	28日	25日	16日	27日	17日	すべて金曜日
宇美中	2階・多目的室	13日(火)		10日(木)				

ボランティアセンターの愛称が決まりました！

宇美町ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」に来てね！



多数の応募をいただきました中から、辻荒木在住の小野さんご応募の「ふみらぼ」に決まりました。「ふみ」は魏志倭人伝の不彌国から、「らぼ」はフランス語のラポール（人と人との信頼関係のこと）から組み合わせた名前になっています。優しい語感で、皆さんに親しみと信頼を感じてもらえるセンターにしたいと考えています。どうぞ、気軽にお立ち寄りください。ここを中心にしてボランティア活動をしている方、しようと考えている方を応援していきます。宇美町のホームページからも「ふみらぼ」の情報が見られるようになっています。そちらものぞいてみてください！



編集後記: 思ったより多くの方に愛称のアイデアをいただきまして、本当にありがとうございました！使っていくうちに、愛称とセンターの一体感が生まれると思います。『ふみらぼ』の愛称を、たくさん見て聞いて使ってもらいたいと思っています。 K. E

●ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」（共働のまちづくり課）TEL933-1110 レイアウト・絵 ayakom

鑑賞無料

夏休み子ども映画会

- 夏休みの1日、映画をみて楽しみましょう！
- ★7月24日(日)
 - 上映タイトル「どろぼうがっこう」(20分)
 - 「ぼくは王さま」(10分)
 - 午前の部 11時～11時半
 - 午後の部 14時半～15時
 - ※10分前から開場します
 - ★8月4日(木)
 - 上映タイトル「じごくのそうべえ」(16分)
 - 「ともだちくるかな」(14分)
 - 午前の部 11時～11時半
 - 午後の部 14時半～15時
 - ※10分前から開場します
 - ★会場 うみ・みらい館多目的ホール
 - ※申し込みは不要です。

1日子ども図書館員募集！

- 日頃、利用している図書館で、あなたもカウンターでの貸出や返却などを体験してみませんか。
- ★日時・対象
 - ①8月5日(金) 9時～12時 小学3、4年生
 - ②8月6日(土) 9時～15時 小学5、6年生・中学生
 - ※お弁当、水筒持参
 - ★募集人員 各日5名
 - ★内容 カウンターでの貸出、返却、配架、館内見学など
 - ★申込先 図書館カウンターまたは電話、FAX
 - ★申込締切 7月31日(日) (先着順)

新刊案内

★一般書★

「履歴書代わりに」



吉村 昭/著 河出書房
場所、記憶、追悼、取材、披露宴、相撲、家族、病気、万年筆、紀行、そして青春…。歴史の証言者、吉村昭の、こだわりの世界と記憶の軌跡を綴った、単行本未収録のエッセイが収録されています。

「隠居大学」



天野 祐吉/編 朝日新聞出版
原始、「隠居」は遊びの達人だった。若いモンの憧れだった。横尾忠則、外山滋比彦、赤瀬川原平など遊びの達人が、天野祐吉を相手に、「いい加減精神」の真髓を語り明かしています。

★児童書★

「乗り越える力」



荒川 静香/著 講談社
プロフィギュアスケーター荒川静香が「夢と目標の違い」「コンプレックスの克服法」など、夢を持って生きるためのヒントを伝えた本。大人への第一歩を踏み出す15歳に向けた、人生の大先輩のメッセージが紹介されています。

「世界は気になることばかり」



五味 太郎/著 偕成社
だあれも気がついていないのに、ぼくだけが気づいてしまったこと。河に流れているもの、野球場のすみっこ、夜空に浮かぶ星座…。日常のなかにひそむ、おかしなできごとを描いた絵本です。

● 夏休みの課題図書・指定図書 ●

「第57回青少年読書感想文コンクール」の課題図書と「第55回西日本読書感想文コンクール」の指定図書を紹介しています。あなたも夏休みに本を読んで、感想文を書いたり、本の世界を絵にしてみませんか。

8月の特集コーナー

テーマ：『平和』について考えよう

一般書

- ★伝えよう『戦争と平和』
- ・「群青に沈め」 熊谷 達也/著 角川書店
- ・「あの戦争を伝えたい」 東京新聞社会部/編 岩波書店
- ・「海燃ゆ」 工藤 美代子/著 講談社
- ★夏を涼しくのりきる怪談、ミステリー
- ・「江戸諸国百物語」 西日本編 人物社
- ・「小川未明集」 小川 未明/著 筑摩書房
- ・「怪談熱」 福沢 徹三/著 角川書店

児童書

- ★『平和』ってなんだろう。
- ・「あしたのやくそく」 吉村 薫/文 新日本出版
- ・「悲しい対馬丸の話」 久野 登久子/文 フレーベル館

● 毎月23日は「宇美町読書の日」 ●

毎月23日は、お家で読書を楽しみましょう！ブックリスト“子どもの本だな”（幼児・児童用）とふみの本棚（中学生・大人用）をご利用ください。※図書館で配布しています。また、ホームページで見られることもできます。

【7月の利用状況】入館者数：14,724人 利用者数：5,674人 貸出冊数：23,867冊